

珠洲市総合戦略「短期」の進捗状況について（概要）

- 珠洲市総合戦略（R7.3策定）は、珠洲市復興計画（R7.2策定）を包含しており、計画期間を令和11年度までとしている。
- 各事業の達成までの進捗計画を「短期」「長期」に区分し、タイムラインとして設定。
- 令和7年度末で「短期」の2年間が経過したことから、「長期」に向けた事業の実効性を高めるため、「短期」の進捗状況を確認した。

<進捗状況の確認方法>

事業ごとに、以下の3つの区分で進捗を評価

「A：計画どおり・計画以上」

- ・計画通り進捗しているもの
- ・計画以上の成果があったもの
- ・計画を前倒しして目的を達成したもの

「B：概ね計画どおり」

- ・概ね計画通り進捗しているが、さらに取り組みを加速していく必要があるもの

「C：さらなる取組の推進が必要」

- ・遅れや十分でないところがあり、取組の改善が必要なもの
- ・取り組みが始まったばかりであり、今後、具体的な成果が求められるもの

タイムライン（進捗計画）

いつまでに、何をするのかといった取組の流れや進捗を示した工程表

R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
短期					
長期					

進捗状況（集計概要）

基本方針	事業数	A：計画どおり・ 計画以上	B：概ね計画どおり	C：さらなる取組 の推進が必要
①より強靱で安全な、災害に強い 地域づくり	64	16（25％）	35（54.7％）	13（20.3％） （「－」事業の取りやめを含む）
②暮らしとコミュニティの再建	76	35（46％）	36（47％）	5（7％）
③生産性の向上を図るなりわいの 再建	43	8（18.6％）	18（41.9％）	17（39.5％）
④自然と文化を活かし、これまでの 取り組みを発展させた魅力ある 地域の再生	20	8（40％）	8（40％）	4（20％）
合計	203	67（33％）	97（47.7％）	39（19.3％）

※基本方針5「D Xの推進による「つながる社会」の実現」は、基本方針1～4のD Xに関する事業の再掲であるため、事業数としてカウントしていない。

進捗状況（主な取り組み）

基本方針1 より強靱で安全な、災害に強い地域づくり

○強靱な道路構造の採用【B：概ね計画どおり】

- ・ 査定が完了し、実施設計中。今後、工事着手を目指している。

○まちづくりと一体となった上下水道インフラの最適化【C：さらなる取組の推進が必要】

- ・ 各地区の復興まちづくりの検討が固まり次第、整備を進める。

○処理区域特性や将来人口を踏まえた代替案の検討【A：計画どおり・計画以上】

- ・ 宝立、若山処理分区を浄化槽区域とし、**見直しが完了**。

○農地・農業用施設、林道・治山施設、漁港施設等の強靱化【B：概ね計画どおり】

- ・ 本復旧に向けた測量・設計を実施中。新設となる施設が多くなる見通し。

○最先端の浄水技術を利用した小規模分散型の飲料水供給システムの構築【A：計画どおり・計画以上】

- ・ 国の事業を活用し、R7年度において**8世帯に導入**。水質検査も異常なし。

○自主防災組織の強化【A：計画どおり・計画以上】

- ・ 「**珠洲市地域防災強化支援補助金**」を創設。
- ・ 市内全地区の地区防災計画の策定・改定のため、住民検討会を開催し、市としても支援を推進。

○ドローンの整備と訓練【B：概ね計画どおり】

- ・ 珠洲消防署、大谷分署、日置ハウス、の三か所に設置。石川県とKDDIとともに実証実験が進行中。

進捗状況（主な取り組み）

基本方針２ 暮らしとコミュニティの再建

○災害公営住宅の整備【A：計画どおり・計画以上】

- ・意向調査を実施し、推計戸数と整備候補地を確定。

○10地区の復興プラン作成【B：概ね計画どおり】

- ・査定が完了し、各地区のプランを策定中。重点5地区については着手している。

○地域コミュニティ施設（集会所、神社、寺院等）の再建支援【A：計画どおり・計画以上】

- ・R7年度末で申請件数42件（集会所22件、神社18件、その他2件）。うち、完了は29件（集会所18件、神社9件、その他2件）。

○被災文化財の修復【B：概ね計画どおり】

- ・被災文化財32件のうち、R7年度末で修復済み4件、対応中2件。

○子どもの遊び場の整備【A：計画どおり・計画以上】

- ・意見募集や意見交換会、パブリックコメントを実施し、基本計画の策定が完了。完成は3年程度。

○「望ましい教育環境のあり方」を総合的に見据えた災害に強い魅力ある新たな学校施設の整備を検討【B：概ね計画どおり】

- ・R7に教育フォーラムや保育園・小中学校での意見交換会を実施。R8年6月には検討委員会を開催。

○持続可能な地域公共交通の取組【A：計画どおり・計画以上】

- ・ライドシェアは難しいと判断。その代替としてこの10月からオンデマンドバスを運行。

進捗状況（主な取り組み）

基本方針3 生産性の向上を図るなりわいの再建

○「なりわい再建支援補助金」等の活用促進に向けた相談体制の充実【A：計画どおり・計画以上】

- ・申請件数はR6年度4件、R7年度36件。関係機関が連携し、相談にあたっている。
- ・市独自の上乘せ支援も実施（自己負担額×1／5以内、最大1,000万円）。

○農林水産業用機械・施設の修繕・再取得への支援【B：概ね計画どおり】

- ・「農業機械再取得支援事業」の申請状況は631件も、建築工事については遅れが生じている。

○農林水産物の高付加価値化【B：概ね計画どおり】

- ・出荷量は回復していない。米はトキ放鳥による認証制度により、高付加価値化につながっている。

○仮設・復興商店街の整備【A：計画どおり・計画以上】

- ・すずなり、正院町地内に仮設店舗を設置。すずなりでは団体客も受け入れ、連日にぎわっている。

○観光施設の復旧方針を検討する【B：概ね計画どおり】

- ・入札不調もあるが、復旧に向け取り組みを進めている。

○奥能登国際芸術祭やアートを柱とする各種ツーリズムの推進【C：さらなる取組の推進が必要】

- ・R8年度からツアーの造成、海外エージェントへの情報発信を行う。

○新たなビジネスを創出し、地域の活性化を図る取組を支援【A：計画どおり・計画以上】

- ・「珠洲市起業促進支援補助金」（対象経費×2／3、最大1,000万円）を創設。相談件数増加中。

進捗状況（主な取組）

基本方針 4 自然と文化を活かし、これまでの取り組みを発展させた魅力ある地域の再生

○U・I ターン相談窓口の機能強化【B：概ね計画どおり】

- ・概ね計画通りであり、交流拠点についてはデザインコンテスト最優秀作品をもとに施設整備を実施。

○多様な働き方に対する支援【C：さらなる取組の推進が必要】

- ・特定地域づくり事業協同組合以外の具体的な取組が進展せず、改善が必要。

○アートを活用した震災後の地域コミュニティ強化と各種ツーリズムの推進【B：概ね計画どおり】

- ・2029年開催を目標に、七尾以北6市町での奥能登国際芸術祭の広域化が議論されている。

○能登里山里海SDGsマイスタープログラム【A：計画どおり・計画以上】

- ・修了生はR6年度21人、R7年度39人と、着実に取り組みが進んでいる。

○GIAHSに認定された里山里海の保全・活用【A：計画どおり・計画以上】

- ・震災前からの取組の継続、コウノトリの営巣、アライグマ防除計画の策定など、取り組みが進んでいる。

○トキ放鳥に向けた餌場づくりなど地域の取組支援【B：概ね計画どおり】

- ・「珠洲市トキにやさしい米づくり推進交付事業」（有機JAS米1俵14,000円、特別栽培米1俵7,000円を生産者に補助）や石川県の「トキ生息環境整備事業」が活用され、取り組み面積が拡大中。

○引退競走馬を活かす取組の推進【C：さらなる取組の推進が必要】

- ・R8年6月に15頭受入れ可能な厩舎1棟目が完成。現在7頭を受け入れ。
- ・資材高騰により、放牧エリア拡張や厩舎2棟目建設工事の財源確保が課題。